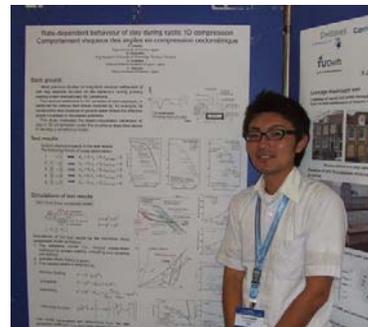




川邊 翔平 (KAWABE, Shohei)

任期付研究員  
博士(工学)

- 1982 埼玉県羽生市生まれ
- 2011 東京理科大学大学院理工学研究科土木工学専攻 修了
- 2011 東京理科大学理工学部土木工学科 助教
- 2014 農研機構 農村工学研究所  
施設工学研究領域 施設機能担当



研究者の横顔

<自己紹介>

今年の4月から農村工学研究所施設工学研究領域でお世話になっています。右の写真は私が現地調査で訪れた農業用用水路と調査の様子の一部です。農業土木に関しては素人で、農業土木、農業水利施設について現地調査や文献等で勉強中です。

趣味の一つは家事です。集中できたり、気分転換になったりもします。掃除や料理をしながらひらめくこともあり、メモのために中断することもあるので、はかどらないこともあります。私にとって貴重な時間になっています。



著者 試験の準備中

<研究について>

昨年度までは、土木の地盤工学という分野で、強い構造物を造るため、防災・減災のために、地盤・土の力学的性質を調べてきました。構造物は地盤の上または中に造られる場合がほとんどで、地盤との関わりは避けられません。地盤は私達の生活を支えるものでありながら、動いたり崩れたりすることもあるために、厄介者にもなり得るといふ側面もあります。人の生活を守る・支えるために多くの土木構造物が造られますが、その構造物を守るためにどうしたら良いか研究を行ってきました。

現在所属している施設機能担当では、主にコンクリートの劣化から各種農業水利施設の健全性評価に関する研究が行われています。その中で、私は農業水利施設群が持つ機能を計画的に維持していくための研究を行っています。これまでの専門分野と異なる分野です。維持管理と防災、コンクリートと地盤、農業土木と土木。一見すると異なる分野ですが、似ている分野でもあると思います。「人の生活や構造物を守る」という共通する大きな目的に対して、これまでとは少し違った考え方で接することができ、とても恵まれていると思います。似ているとはいえども、今までと同じようにはいかず、まだまだ学ぶことばかりですが、これまでの経験も生かしながら向き合いたいと考えています。



河川から用水を流すための水路



田畑近くの水路